

## 農村振興局長賞

べつまた  
別侯コミュニティ振興協議会（新潟県柏崎市）

和と輪による心のかよった「<sup>むら</sup>地域」づくり

人口約600人の小さな農村地域で、特別な観光資源はありませんが、ここには昔から営々と受け継がれてきた「農村の暮らし」と「人情」があります。

次世代を担う子どもたちを地域の宝物として捉え、地域の子どもたちに自然体験や農業体験の場を創

出するため、田んぼの分校を独自で開校しました。

そして、人と自然に関わることが、豊かな感性を育むことに改めて気づいたのです。若者が少しでも地域に目を向け、ふるさとの良さを再認識し、住んでいる地域を自信を持って誇れるものにする。このことに



よって、地域住民の連帯感が強まり、そこに和と輪が生まれ地域活性化への起爆剤となることを期待しました。子ども会を中心に地域ぐるみの活動として取り組んでおり、花じゅうたん里づくりの取組やフラワーロード、ほたるの乱舞観賞、稲虫おくり、稲刈り体験、六夜さんの相撲大会なども実施しています。

「田んぼの分校」は平成 12 年度に開校し、地域との連携による農業体験や自然再生活動及び都市との交流など独自の企画・活動を積極的に展開しています。これを契機に、ハッチョウトンボやゲンジボタルの生息が貴重な資源であることを再認識し、除草剤散布規制など自然環境保全や再生活動への取組を展開しています。

また、平成 15 年度に花じゅうたん里づくり事業として、広域農道沿線の転作田に約3万本のひまわり畑をつくり、同時に野菜直売所を併設したところ、大勢のお客が集まりとてもにぎわっています。

さらに、平成 16 年度には都市住民との交流に向け、10 数回に渡る学習会を開催し、「人と人との和と輪」の形成を図っています。最初は「ほたるの天の川観賞と笹団子づくり」体験交流を東京の親子と実施し、好評を得ました。このことは、地区民の元気と勇気と

自信につながりました。また農村に伝わる笛や太鼓に合わせてたいまつを持って練り歩く「稲虫おくり」や「田舎の香りのおすそ分け」と称して、稲刈りと遊び体験を取り入れた都市住民との交流会を実施しました。

この他 300 年の歴史を持つ「六夜さんの相撲大会」や神楽舞の伝承保存も行っています。

将来は、廃校となった小学校の木造校舎を滞在型体験交流宿泊施設として整備し、豆腐や豆乳、漬物などの農産物加工、農家レストランなど、グリーン・ツーリズムの推進を展開する予定です。

活動理念は、「楽しむところにむらづくりがある」です。

#### ■講評

周囲を低い山に囲まれた盆地状の美しい田園風景の中で、子どもたちのために、そして自分たちのために実施した「田んぼの分校」がきっかけで、数多くの活動が3集落の住民の参加で実施されてきました。また近年では、廃校の小学校校舎を地域で引き取るなど、これまでの積極的な活動や活動を通じた地域住民の結束力が評価されました。今後は、廃校木造校舎を活用し地域の特産品の開発や都市農村交流への取組が期待されます。

